

「地域福祉にかかる実態調査（令和7年8～9月実施）」の質問項目等について

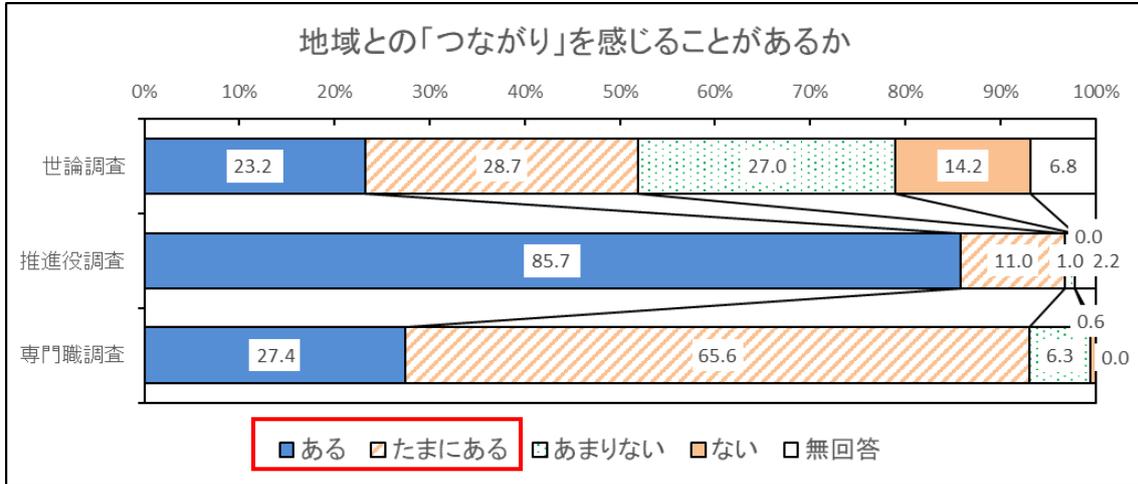
実態調査報告（抜粋）

第3期大阪市地域福祉基本計画の体系		調査項目	番号	評価指標	①世論調査票	②推進役調査票	③専門職調査票		
1-1 住民主体の地域課題の解決力強化と見守り活動の充実	地域での支え合い、助け合いの意識づくり	①地域での「つながり」の実感 地域で支え合い・助け合いの意識を醸成していくには、まず地域で「つながり」を感じてもらわなければならない。実際、どのような時に「つながり」を感じたのか、感じることができるのかなどを調査する。	1	「つながり」の実感	1-1(1)	質問1	質問1		
			2	「つながり」を感じる時		質問2	質問2		
			3	どうなれば「つながり」を実感できるか		質問3	質問3		
		地域福祉活動への参加の促進	②支え合い・助け合いに関する意識 支え合い・助け合いの意識がどこまで地域に根付いているのか、地域における支え合い・助け合いのニーズ（助けたいこと、助けられてほしいこと）などを調査する。	③地域福祉活動に関する意識 「つながりの実感」や「助け合い・支え合いの意識」につながるものの例として、地域福祉活動への参加について、参加状況や参加しない理由、参加したい行事などについて調査する。 地域福祉活動への参加を促進するために、参加状況だけでなく、参加したきっかけや、活動を続ける要因、そもそも参加しない要因などを調査する。 地域福祉活動の推進役や専門職からみた地域福祉活動の抱える課題などを調査する。	4	手助けしたこと	1-1(1)	質問3	
					5	手助けしたいこと		質問4	
	6				手助けしてもらいたいこと				
	7				手助けしてもらっていること				
	8				地域福祉活動の認知		質問5		
	④地域福祉活動としての寄付に関する意識 地域福祉活動としての寄付文化の醸成に向けて、現在の意識と併せて、どのような手段、どのような目的なら寄付をしやすいかなどを調査する。			9	地域福祉活動への関心	1-1(2)	質問6		
				10	地域福祉活動への参加	1-1(2)	質問7		
				11	参加したきっかけ		質問8	質問4	
				12	継続している理由			質問5	
				13	参加した際の負担		質問9	質問6	
	住民が主体的に地域課題を把握し解決できる体制づくり	⑤地域課題を解決できる体制に関する意識 地域福祉活動の推進役や専門職が、地域福祉活動を通して把握された地域課題について地域で解決できる体制が整っていると感じているか、体制を整えるための課題は何かを調査する。	14	参加しなかった理由		質問10			
			15	参加したい地域福祉活動		質問11			
			16	求められている地域福祉活動			質問7	質問4	
	専門職による地域福祉活動への支援と協働	⑥専門職による地域福祉活動支援に関する意識 地域福祉活動の推進役が専門職にどのような支援を受けているのか、また何を期待しているのかなどを調査する。 専門職自身がどのような支援を期待されていると感じているのか、支援をおこなううえでどのようなことが課題であると感じているのかなどを調査する。	17	寄付の目的		質問12			
			18	解決体制の実感		質問13			
			19	体制を整えるために必要なこと			質問9	質問6	
			20	専門職の認知			質問10	質問7	
			21	専門職による支援の実感			質問11		
	地域における見守り活動の充実	⑦地域における見守り活動に関する意識 さまざまな形で実施されている地域における見守り活動についての認知度や実際に見守り活動をしている地域福祉活動の推進役や専門職が感じる見守り活動の課題などを調査する。	22	専門職に期待する（される）こと			質問12		
			23	専門職支援の課題			質問13	質問8	
24			見守り活動の認知	1-1(5)	質問14				
25			見守り活動への意識		質問15				
1-2 地域福祉活動への多様な主体の参画と協働の推進	⑧多様な主体が実施する地域福祉活動に関する意識 地域福祉を推進するためには多様な主体の参画が重要であるが、その現状と地域福祉活動の推進役や専門職がどのような活動を期待しているのかなどについて調査する。	26	見守り活動の課題			質問14	質問10		
		27	地域で参画している主体の種類			質問15	質問11		
1-3 災害時における要援護者の支援	⑨災害時に備えたつながりづくりに関する意識 災害時に要援護者への支援をおこなうためには、普段からのつながりが重要である。いざという時に頼りにできる人や支援を必要としている人がいるのか、いざという時に住民同士が協力し合うために何が必要であると考えているのかなどを調査する。	28	多様な主体への期待			質問16	質問12		
		29	家族以外で頼りにできる人・機関		質問16				
		30	支援が必要な人の認知		質問17	質問17			
		31	普段から必要なこと		質問18	質問18	質問13		
		32	災害対応の準備の有無				質問14		
2-1 相談支援体制の充実	複合的な課題等を抱えた人への支援	⑩地域における相談支援の現状 地域における相談支援の現状や相談を受けた地域福祉活動の推進役の連携先などについて調査する。	33	防災の取り組みの認知		質問19	質問19		
			34	生活上の困っていること		質問20			
			35	相談できる人の有無	1-1(3)	質問21			
			36	相談できる人・機関			質問20		
	37		相談される頻度			質問21			
	社会参加に向けた支援		38	相談される案件			質問21		
			39	生困窓口の認知		質問22	質問22		
40		相談を受けた際の連携先			質問23	質問15			
2-2 権利擁護支援体制の強化	虐待防止の取組の推進	⑪成年後見制度等への意識 判断能力が低下した場合もしくは低下に備えて利用できる制度の認知度と制度利用に関するニーズや利用を阻害する要因などについて調査する。	41	虐待通報への意識	2-2(1)	質問23	質問24		
			42	虐待の通報先の認知		質問24	質問25		
			43	通報をためらう理由		質問25	質問26		
			44	成年後見制度等の認知	2-2(2)	質問26	質問27		
			45	相談のつなぎ先			質問28		
	成年後見制度等の利用促進		46	制度情報の取得先		質問27			
			47	法定後見制度を利用したいか		質問28			
			48	法定後見制度を利用したくない理由		質問29			
			49	任意後見制度を利用したいか		質問30			
			50	任意後見制度を利用したくない理由		質問31			
回答者の属性	性別				質問32-A	質問29-A	質問16-A		
	年齢				質問32-B	質問29-B	質問16-B		
	職業				質問32-C	質問29-C			
	住んでいる区				質問32-D	質問29-D	質問16-C		
	世帯構成				質問32-E				
	住まいの形態				質問32-F				
	居住期間				質問32-G	質問29-E			
	町会への加入の有無				質問32-H				
	地域における役割					質問29-F			
	地域における役割の経験年数					質問29-G			
	専門職名						質問16-D		
合計質問数					32	29	16		

・・・R7調査で変更した設問・選択肢
 ...部会・分科会での報告設問

地域での「つながり」の実感

1 (3 調査比較_質問 1)



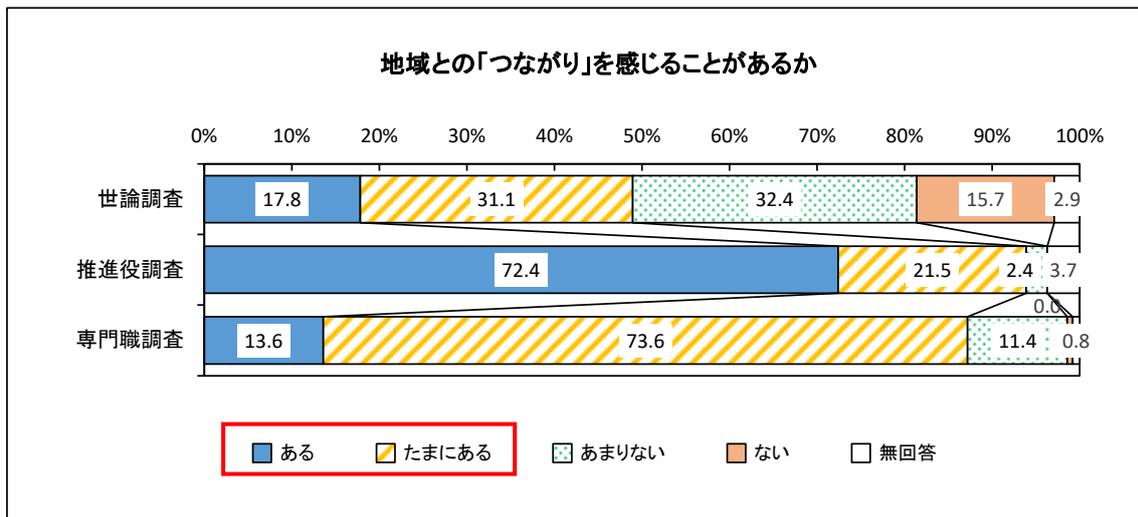
ある・たまにあるの回答率

世 論 (51.9%)

推進役 (96.7%)

専門職 (93.0%)

参考 前回調査 (R4)



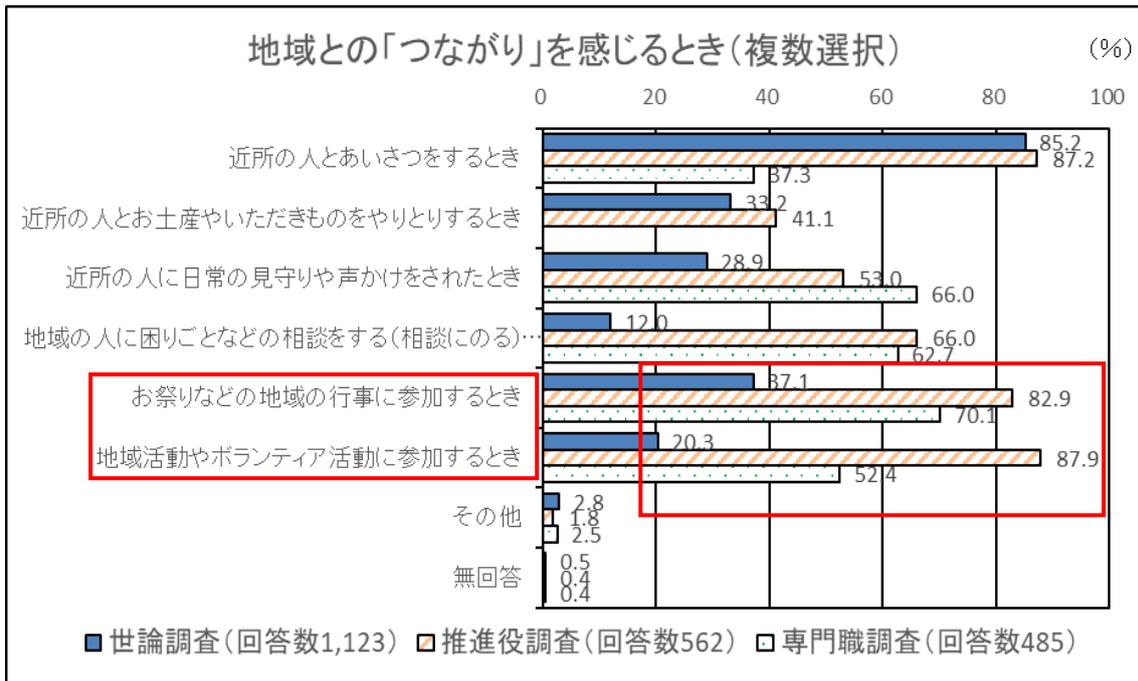
ある・たまにあるの回答率

世 論 (48.9%)

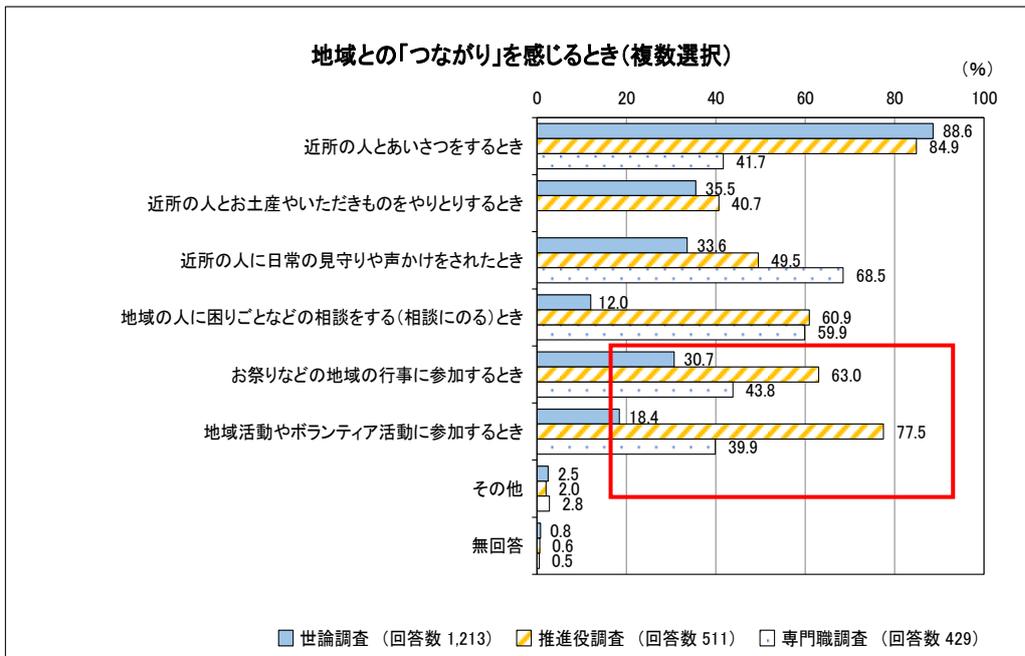
推進役 (93.9%)

専門職 (87.2%)

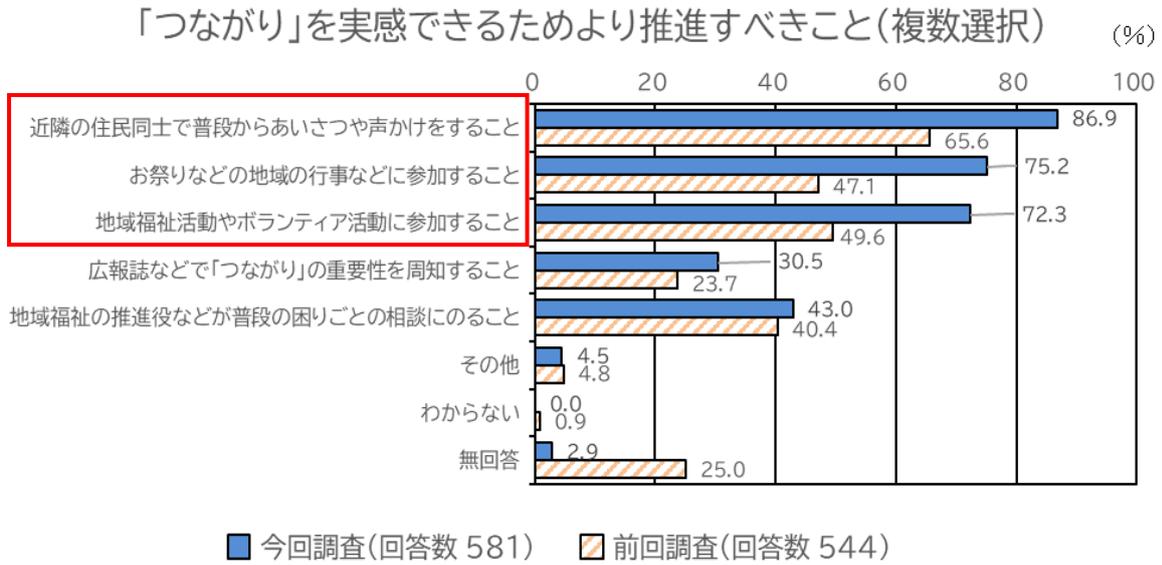
2 (3 調査比較_質問 2) ※専門職調査においては「つながりのある地域」だと思う理由



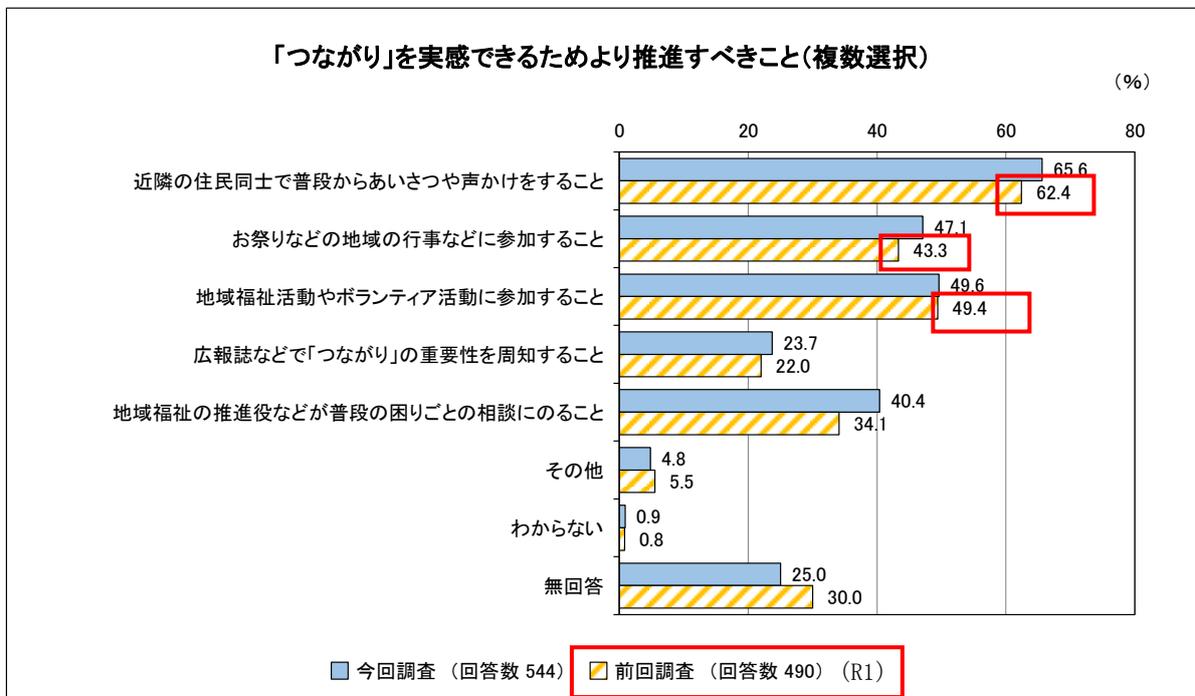
参考 前回調査 (R4)



3 推進役_質問 3



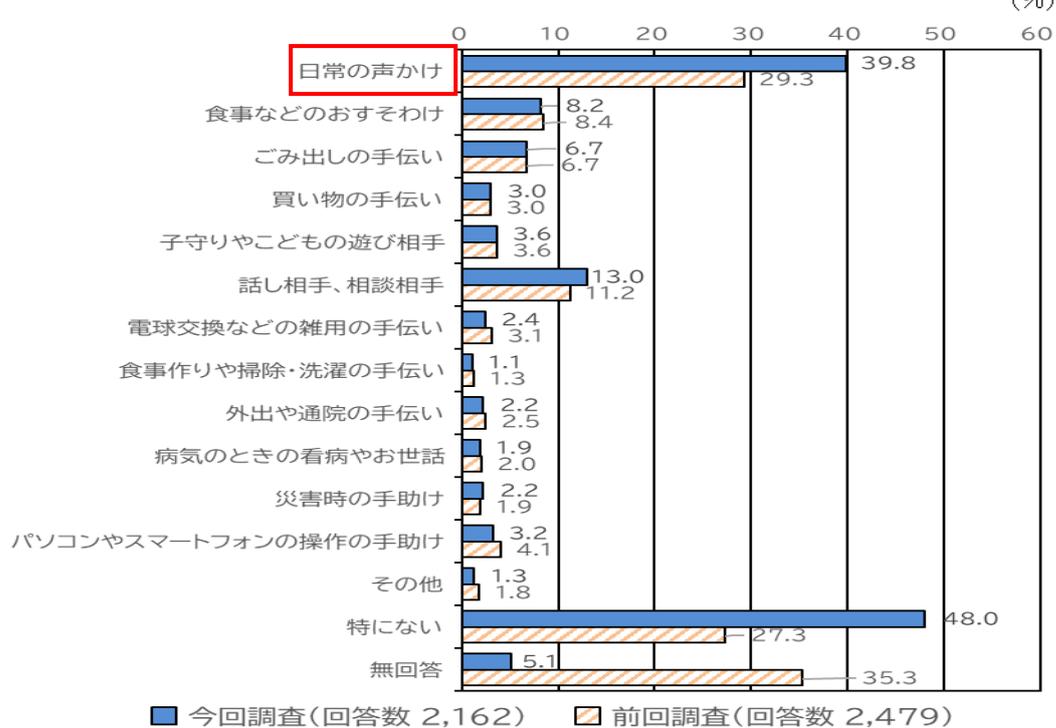
参考 前回調査 (R4) 推進役_質問 4



支え合い・助け合いに関する意識

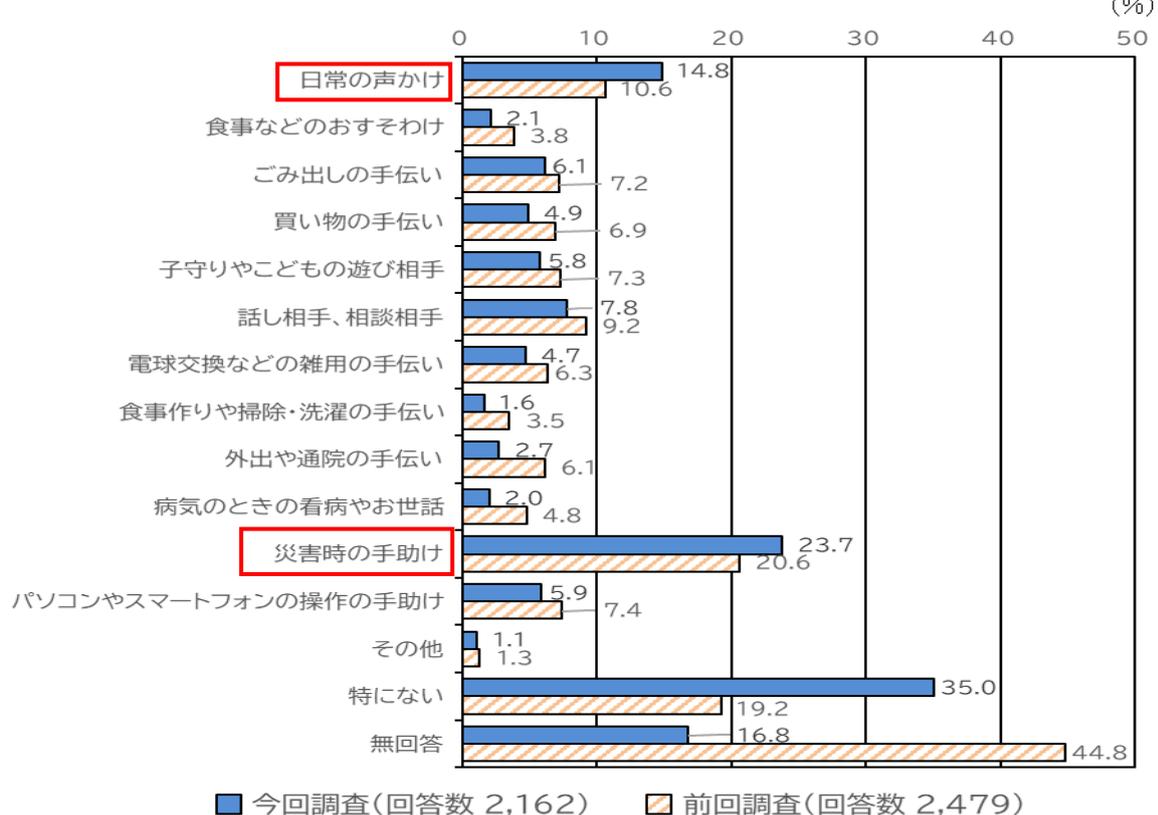
4 世論_質問3

地域住民に対して手助けしたこと(複数選択)



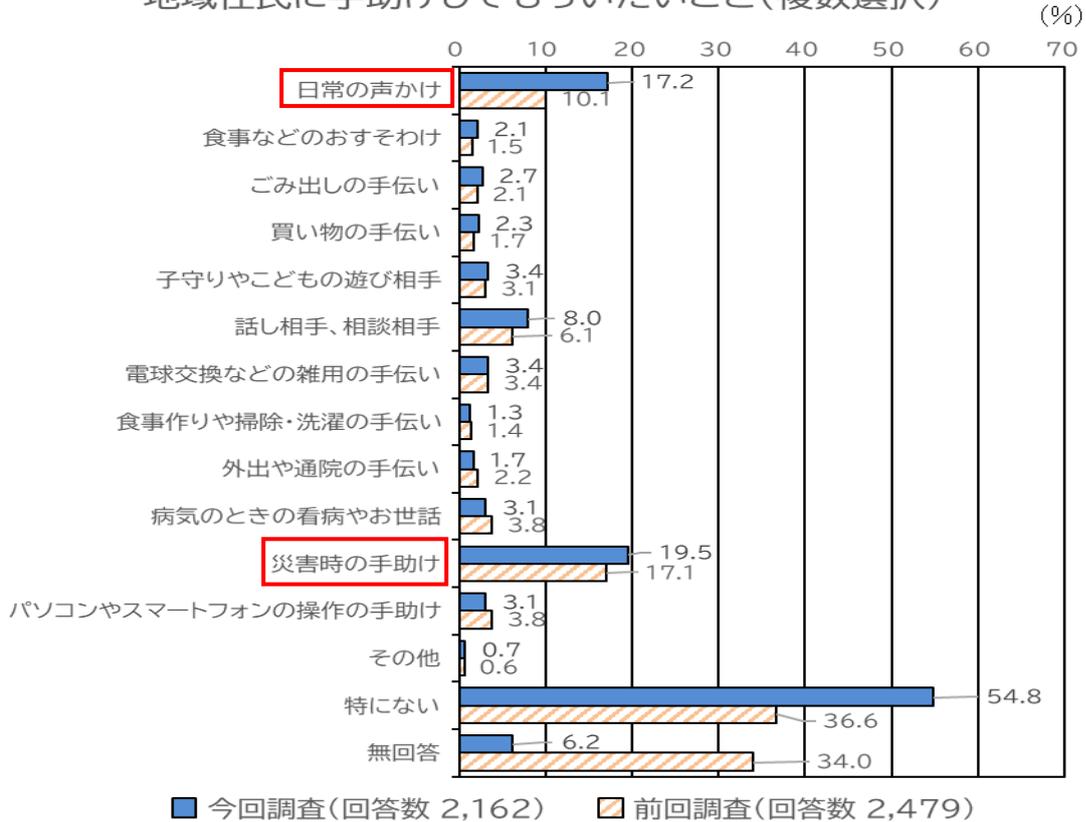
世論_質問3

地域住民に対して手助けしたいと思ったこと(複数選択)



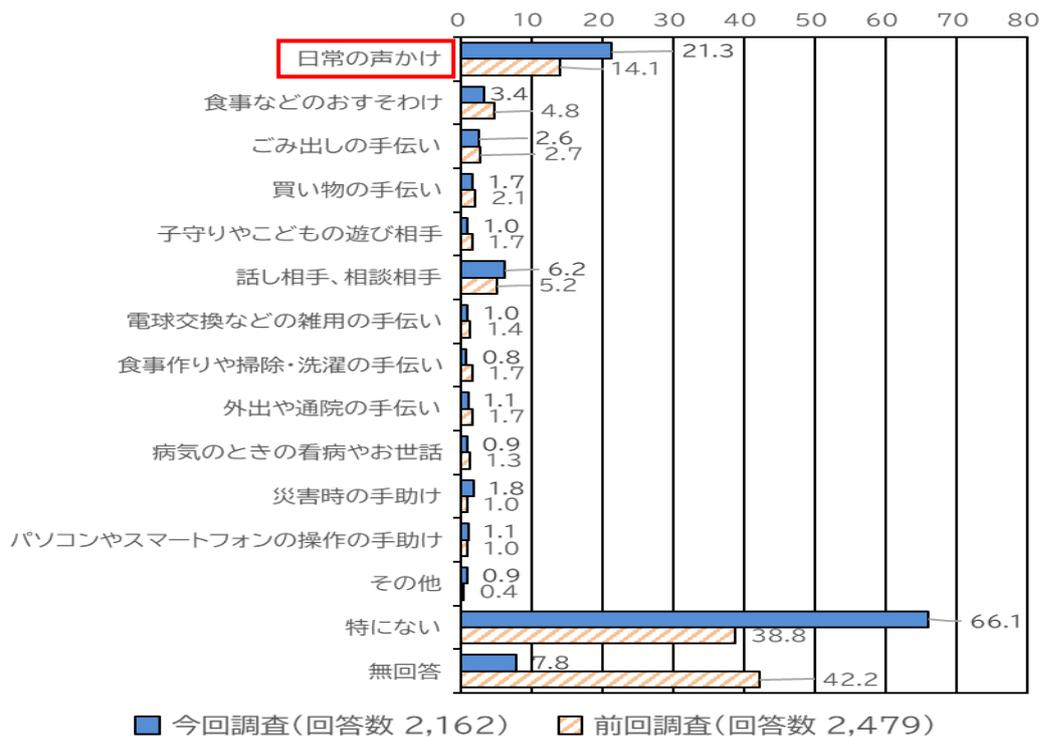
5 世論_質問 4

地域住民に手助けしてもらいたいこと(複数選択)



世論_質問 4

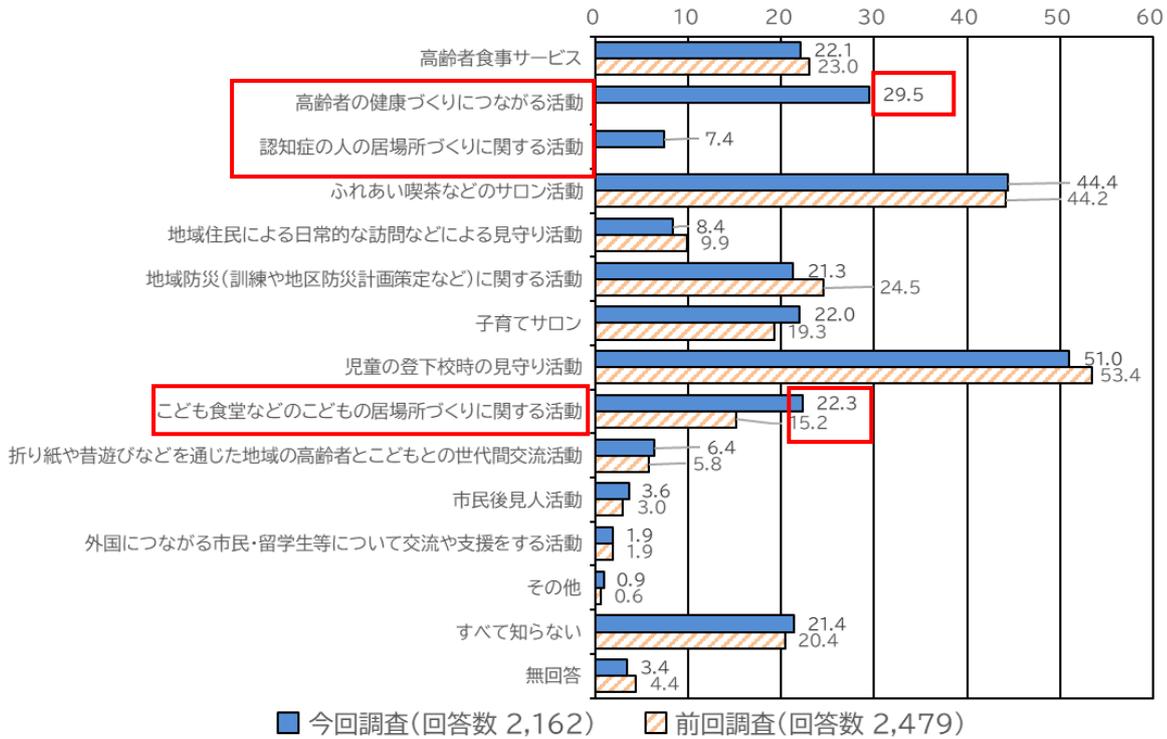
地域住民に手助けしてもらっていること(複数選択)



地域福祉活動に関する意識

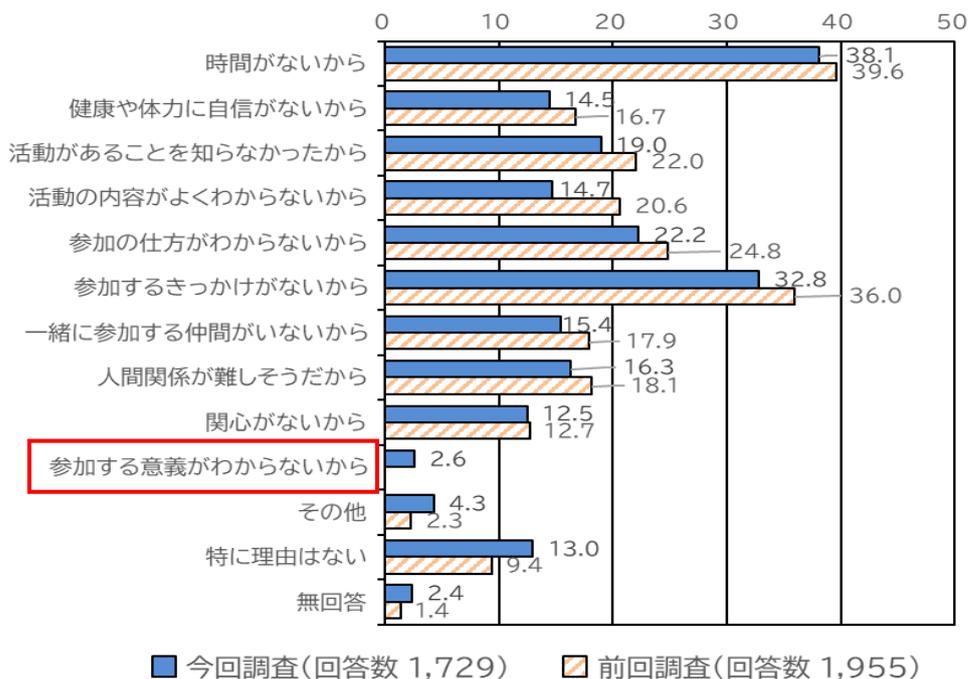
6 世論_質問 5

地域で実施されている地域福祉活動で知っているもの(複数選択) (%)



12 世論_質問 10

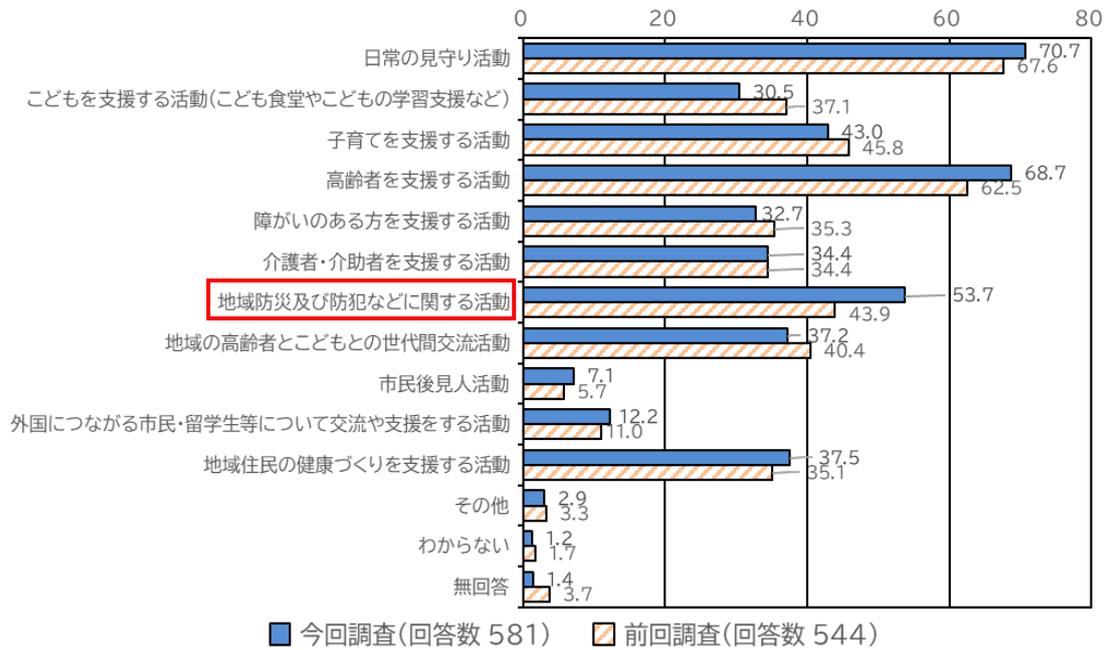
地域福祉活動へ参加しなかった理由(複数選択) (%)



14 推進役_質問 7

地域福祉活動に求められていると感じること(複数選択)

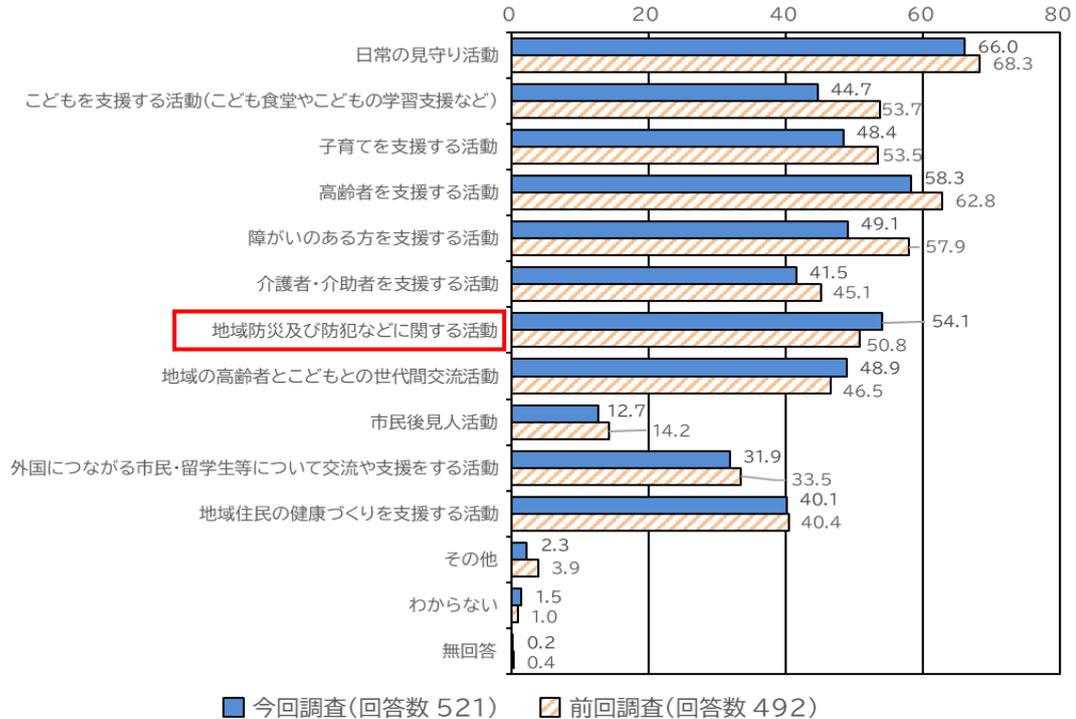
(%)



専門職_質問 4

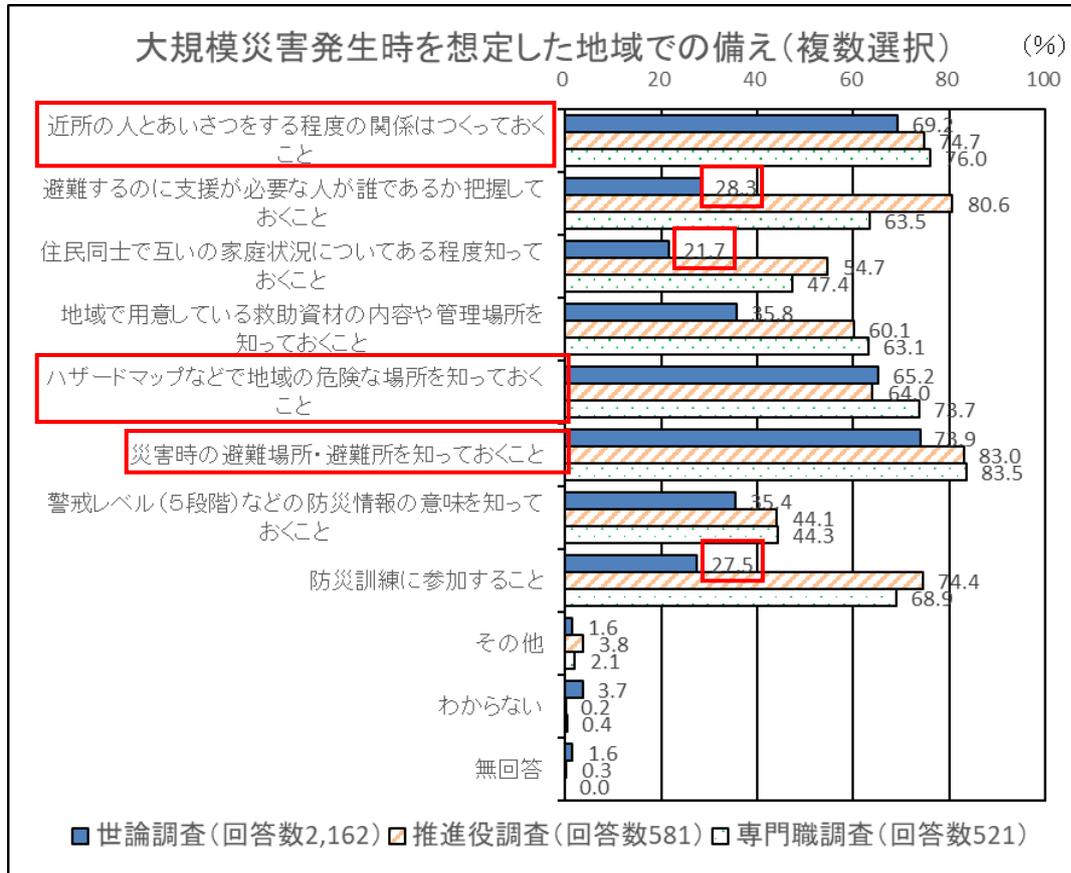
地域福祉活動に求められていると感じること(複数選択)

(%)

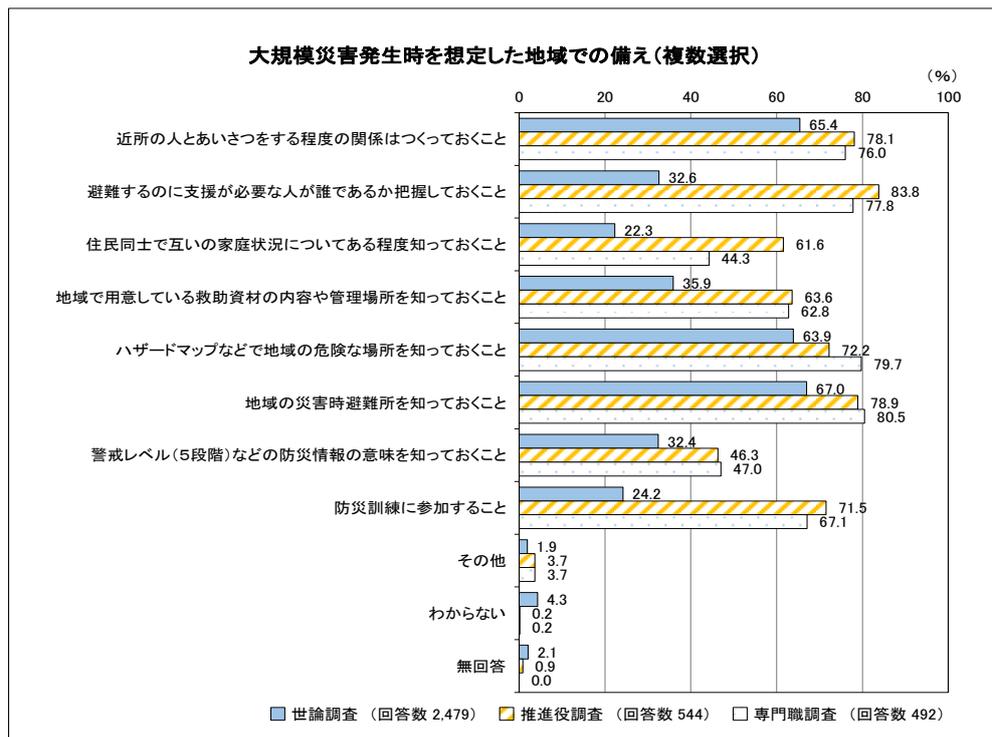


災害時に備えたつながりづくりに関する意識

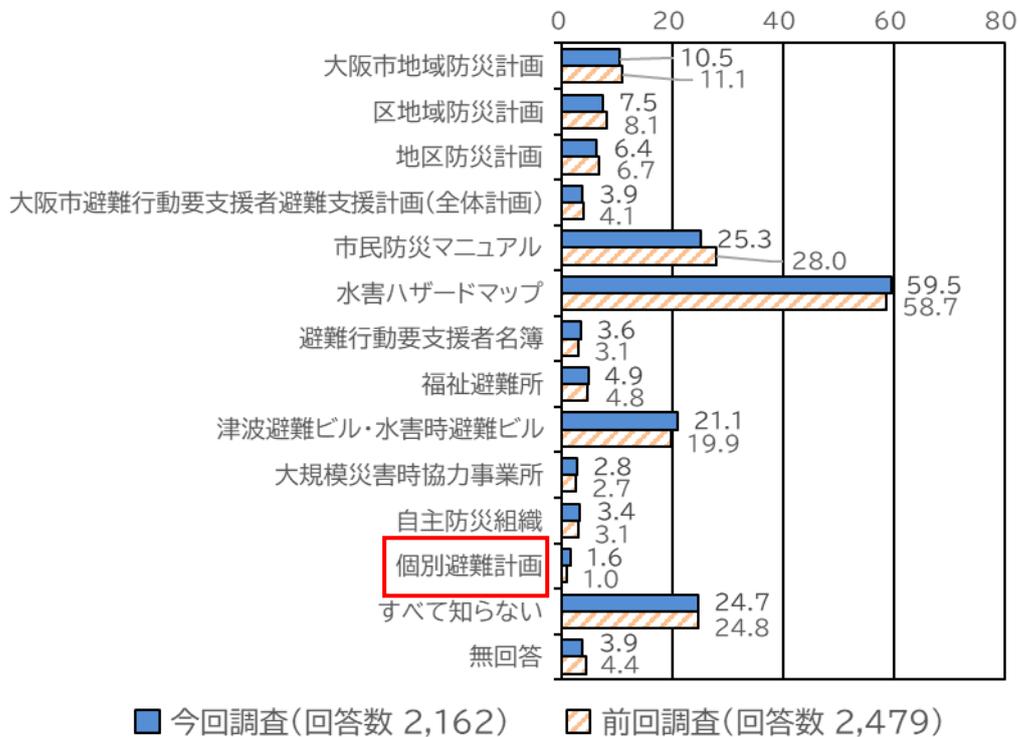
31 (3 調査比較 世論_質問 18、推進役_質問 18、専門職_質問 13)



参考 前回調査 (R4)

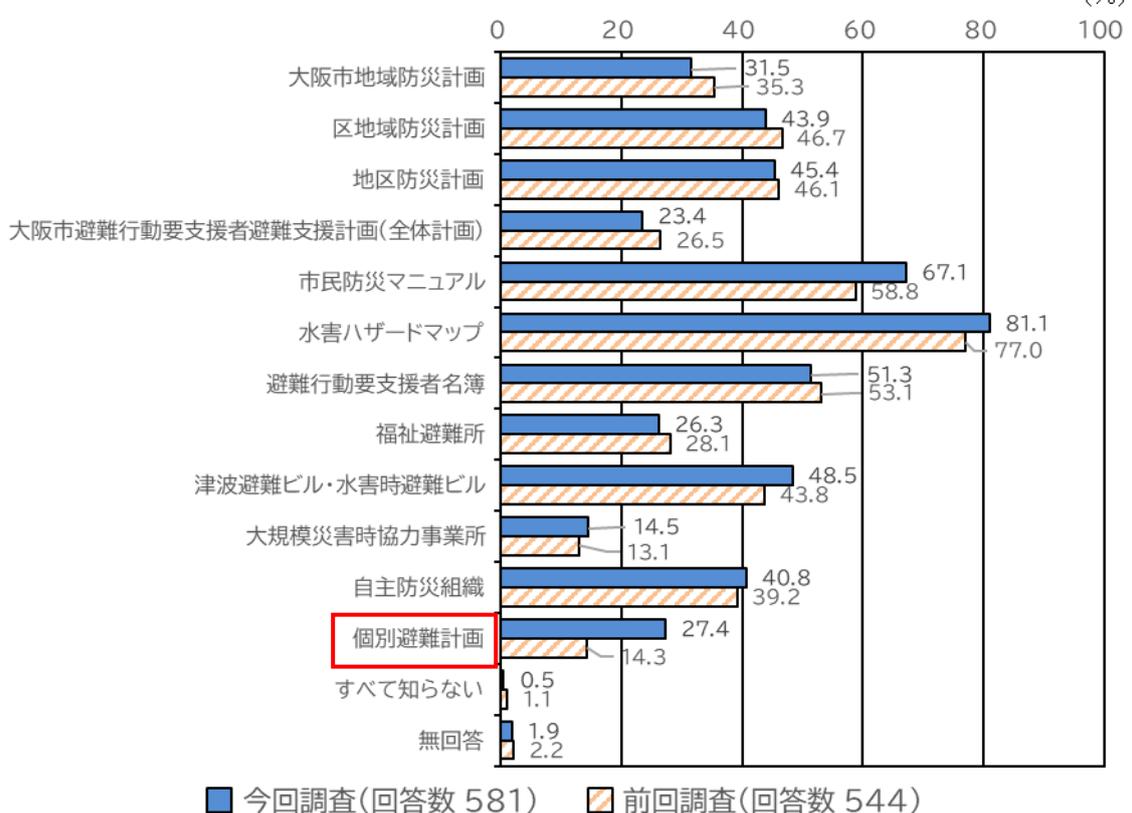


防災に関する取り組みで知っているもの(複数選択) (%)



推進役_質問 19

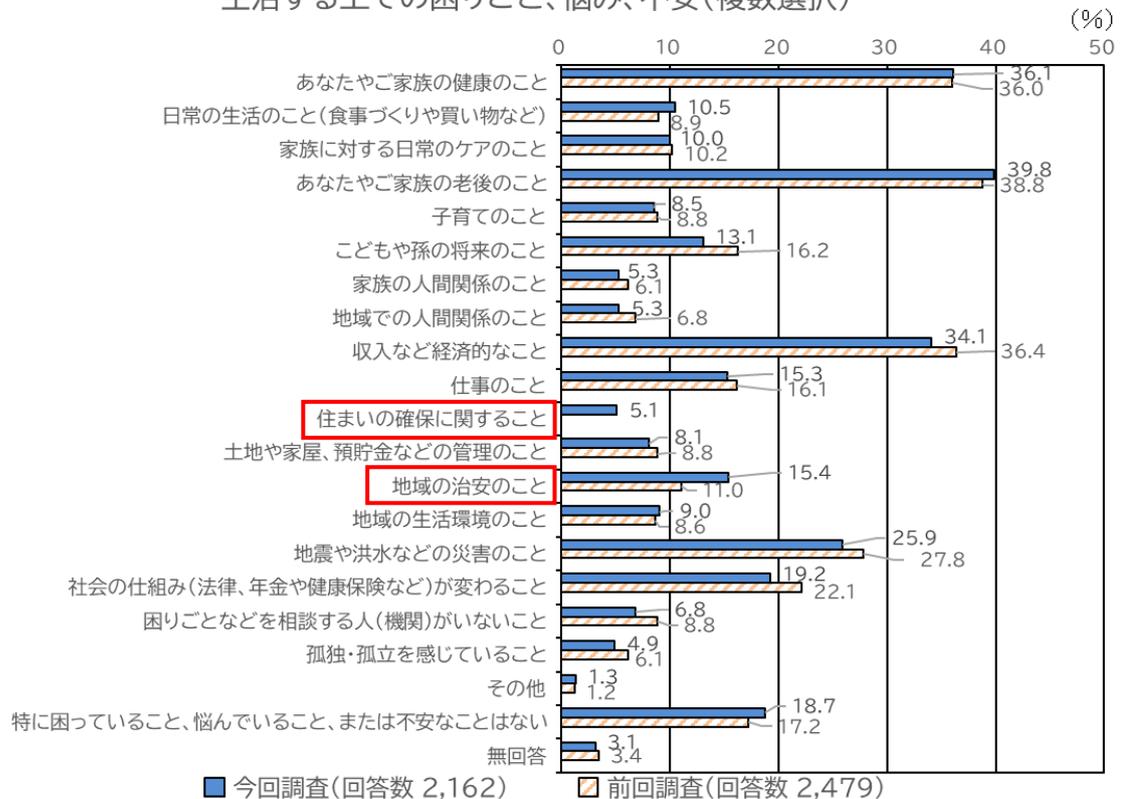
防災に関する取り組みで知っているもの(複数選択) (%)



地域における相談支援の現状

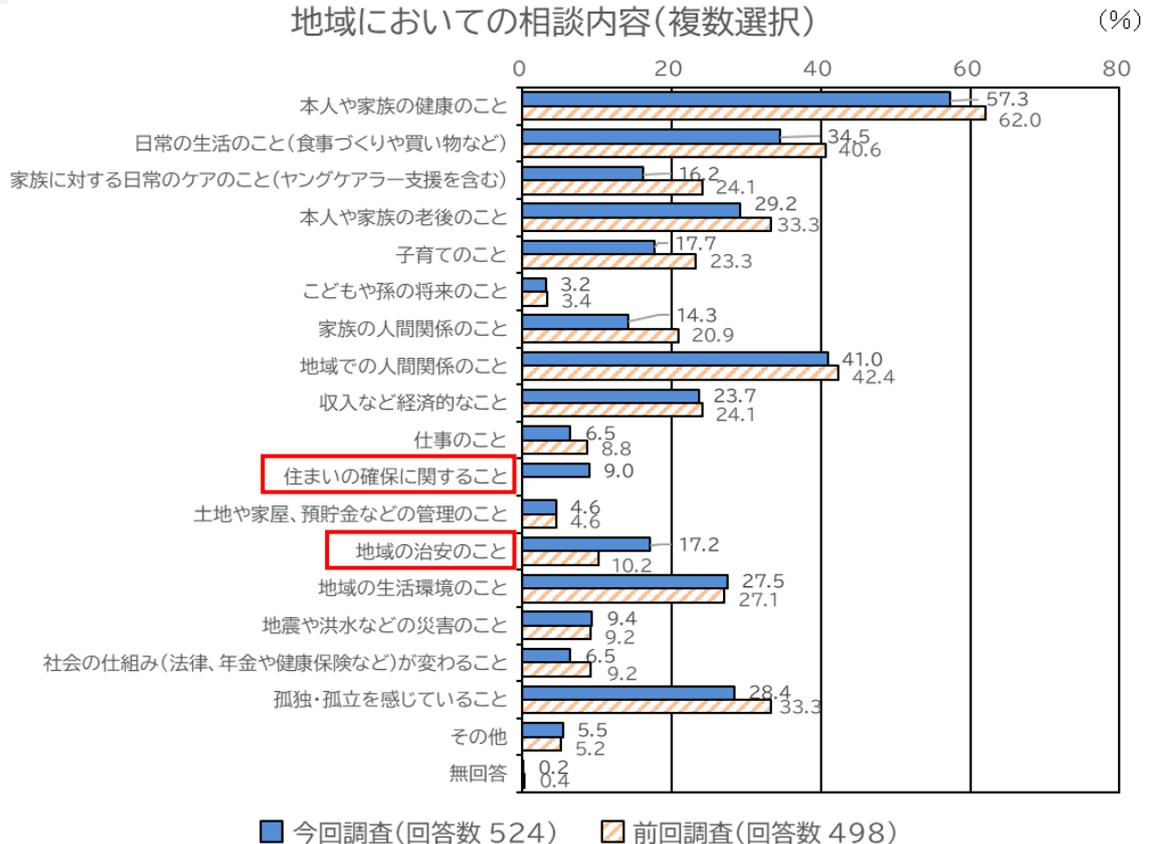
34 世論_質問 20

生活する上での困りごと、悩み、不安(複数選択)



38 推進役_質問 21

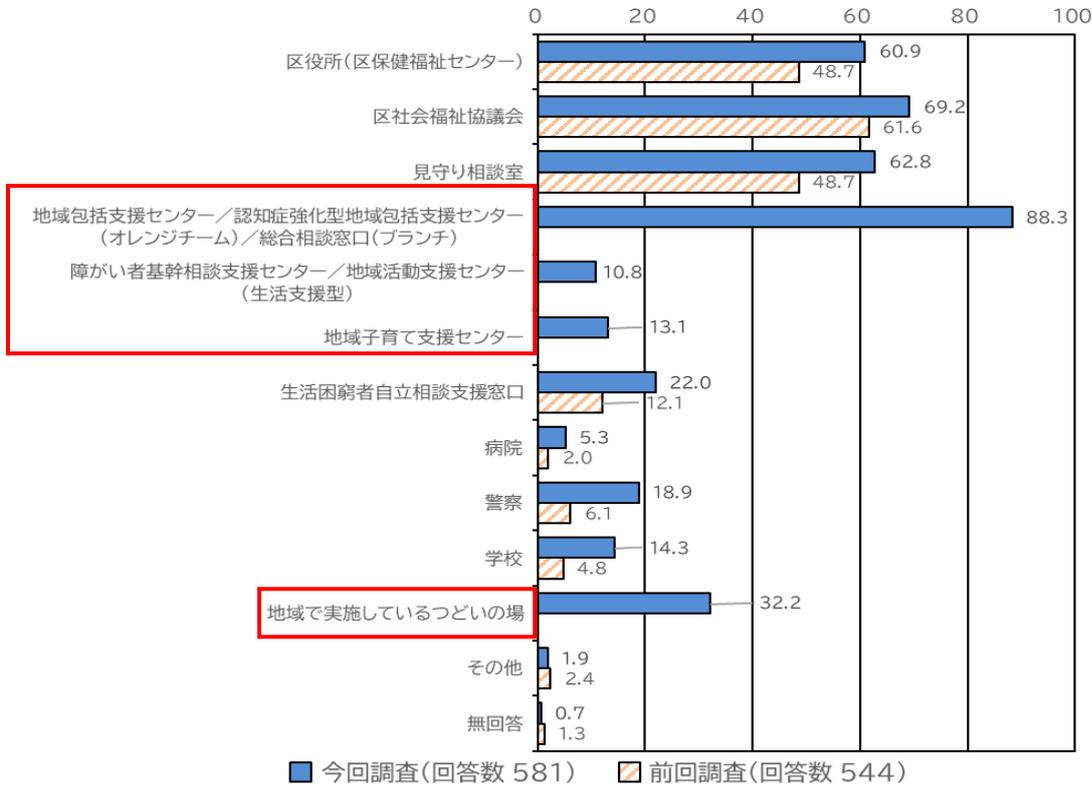
地域における相談内容(複数選択)



40 推進役_質問 23

相談を受けた際につなぐ機関(複数選択)

(%)

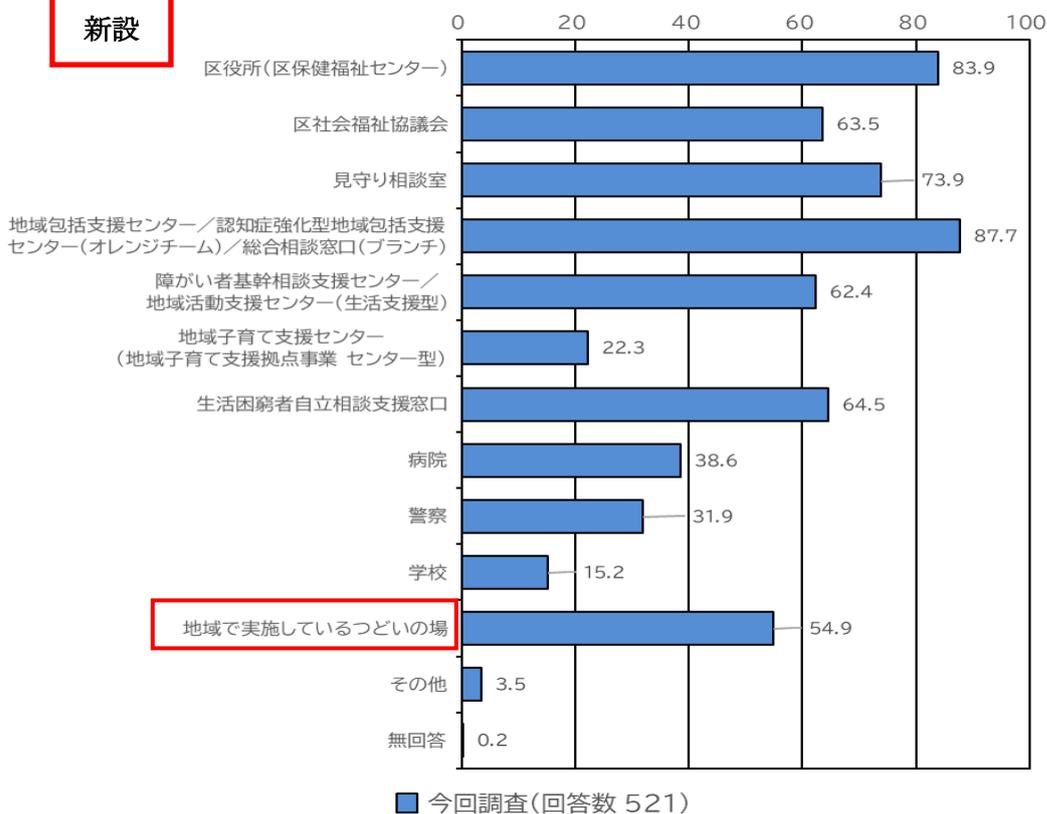


専門職_質問 15

相談を受けた際に連携する機関(複数選択)

(%)

新設

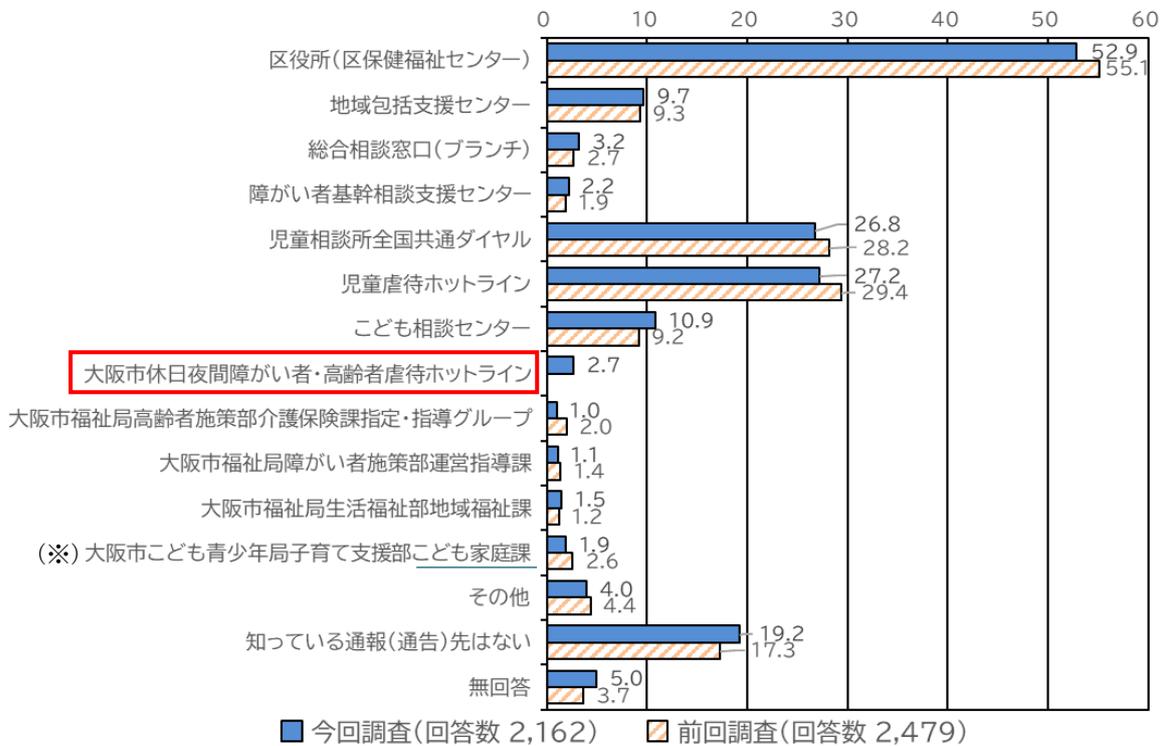


虐待を発見した際の通報に関する意識

42 世論_質問 24

虐待の通報(通告)先で知っているもの(複数選択)

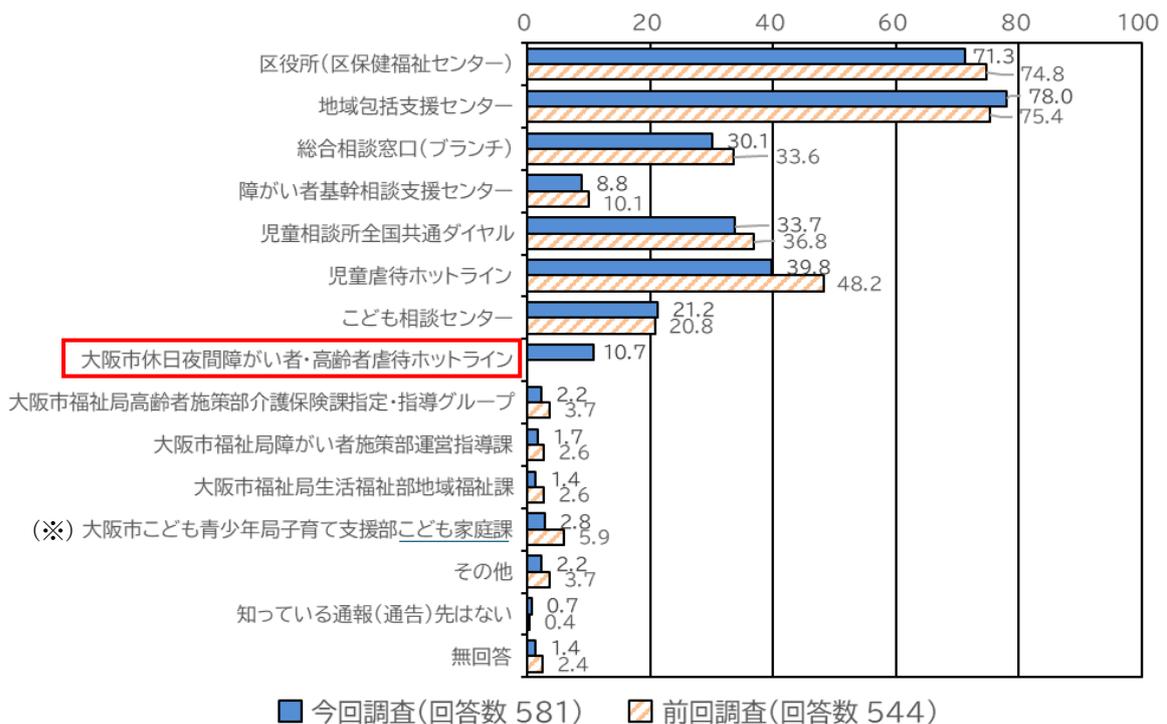
(%)



推進役_質問 25

虐待の通報(通告)先で知っているもの(複数選択)

(%)

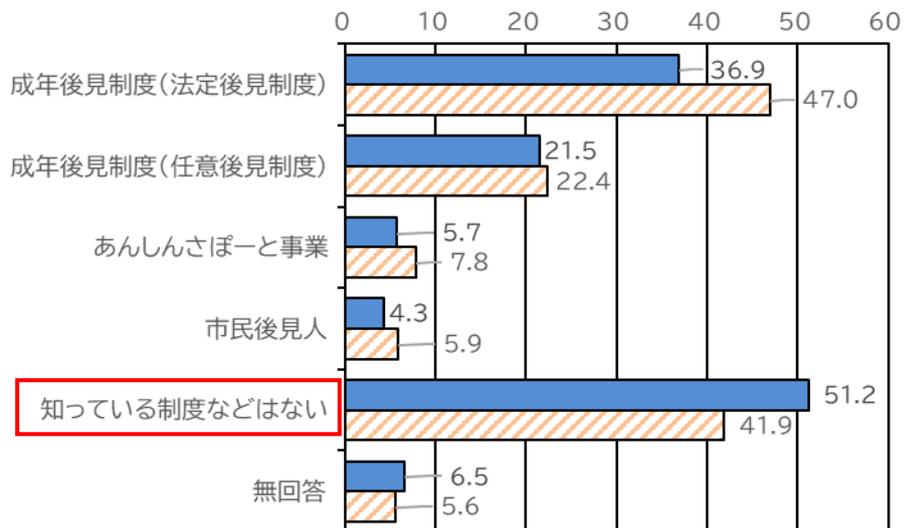


(※) 現在の担当部署は「大阪市こども青少年局子育て支援部管理課」です。

成年後見制度等への意識

44 世論_質問 26 **この調査以前から**

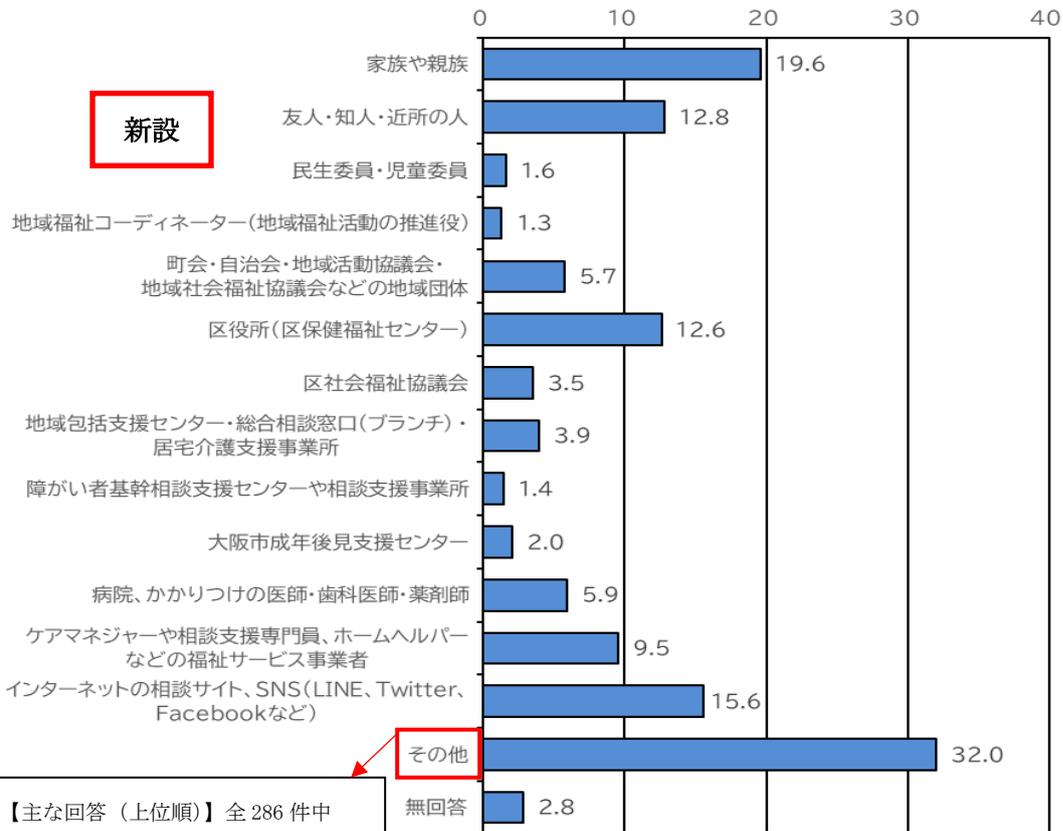
知っている権利擁護の制度・事業(複数選択) (%)



■ 今回調査(回答数 2,162) ■ 前回調査(回答数 2,479)

46 世論_質問 27 [質問 26 で「1 成年後見制度(法定後見制度)」「2 成年後見制度(任意後見制度)」「3 あんしんさぼーと事業」「4 市民後見人」と答えた方が回答]

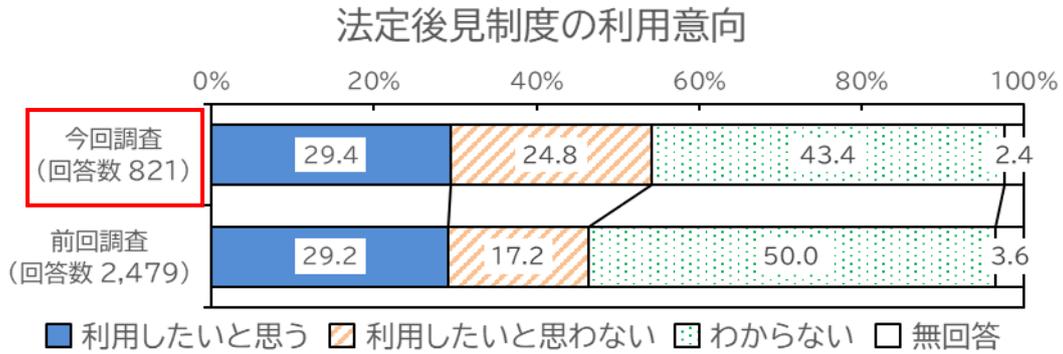
知っている権利擁護の制度・事業の情報源(複数選択) (%)



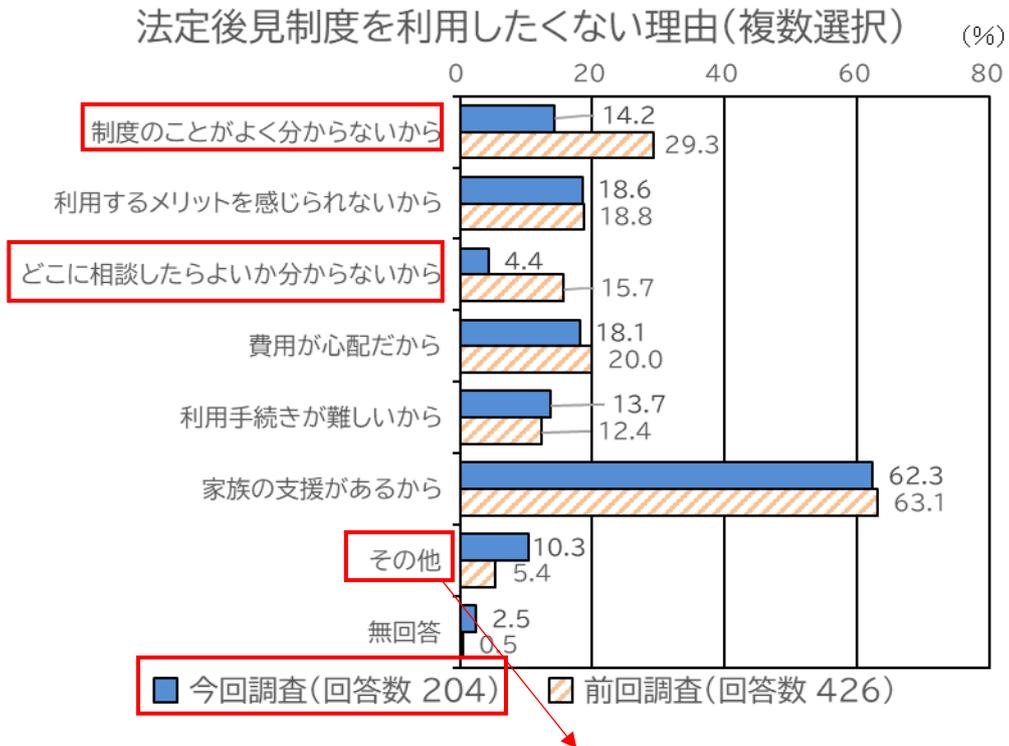
【主な回答(上位順)】全 286 件中
 ・テレビ(ニュース、ドラマ) 約 90 件
 ・新聞 約 85 件
 ・仕事上で知った 約 80 件
 ・資格取得や勉強 約 50 件

■ 今回調査(回答数 913)

47 世論_質問 28 [質問 26 で「1 成年後見制度（法定後見制度）」「4 市民後見人」と答えた方が回答]



48 世論_質問 29 [質問 28 で「2 利用したいと思わない」と答えた方が回答]

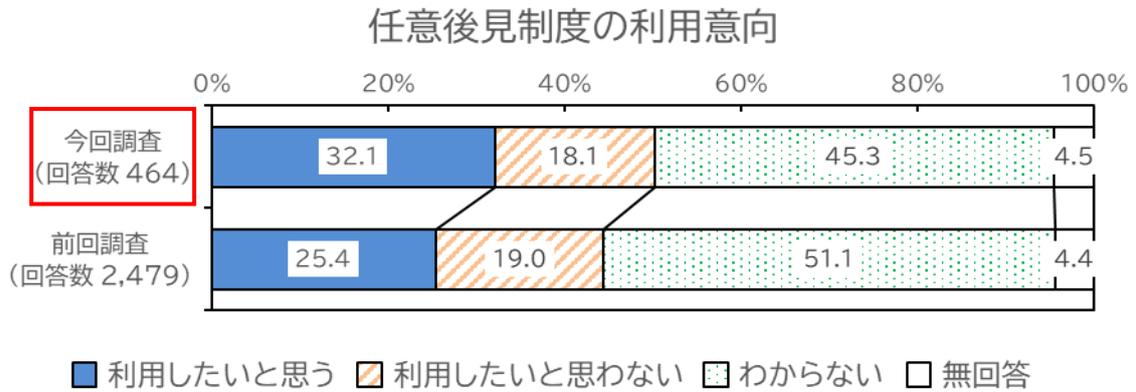


【主な回答】

- ・信頼できない、信頼度が不明
- ・ニュースで被害事例を知った（資産の横領など）ので、制度悪用の懸念がある
- ・制度や手順が複雑、利用者からめんどくさいと聞いた など

49 世論_質問 30

〔質問 26 で「2 成年後見制度（任意後見制度）」と答えた方が回答〕



50 世論_質問 31

〔質問 30 で「2 利用したいと思わない」と答えた方が回答〕

任意後見制度を利用したくない理由(複数選択) (%)

